

TMT 科学諮問委員会 (10/2, 12/27)

- 10/2の開催時に台長からの答申が示された。特に**TMTのサイエンスケースの更新**が今期の科学諮問委員会の重要事項となる。系外惑星分野の検討の強化が求められた。
- WFOSのスリット方式/ファイバー方式の選定について意見集約をおこない、波長分散の柔軟性から多様なサイエンスをカバーできるという観点でスリット方式を支持することとした。この結果を受けて、10/12に行われたTMT SAC (Pasadena) ではスリット方式を支持。最終的に**WFOSはスリット方式で進める**ことが選択された。
- 12/27にはTMT Science Forum (12/10-12@Pasadena) での議論を受け、US decadal survey に向けた Key Science Program の検討状況について報告した。
- US NSF からの誘致に基づき、**TMT+GMTでの建設準備検討の予算プロポーザル**が作成されている。TMT 側は第2期装置の white paper の審査結果と系外惑星分野の進展を重視する観点から、第1期装置IRIS、WFOSに加え、**MODHIS、PSI、MICHIEを中心とした申請**とすることとなったことについて報告した。
- US NAS から発表された系外惑星研究のロードマップに関して、GSMTの役割を中心に説明を受けた。
- **すばるとの一体運用**に向けた検討についても報告を受けた。
- TMTで検討が進む可変副鏡の導入の概念設計の結果についても紹介された。

TMT 科学諮問委員会 (3/19)

- 次回は 3/19 に開催予定。
- サイエンスケースの更新に向け、すばる+TMTの観点から日本からのサイエンスケースの取りまとめを行うことを検討(企画セッションの提案)している。
- TMT戦略基礎開発研究経費の方向性の見直しについても検討している。
- TMT Science Forum は2019/11月初旬@厦門・中国の予定で議論が行われている。